

## 地方自治体における CM（コンストラクション・マネジメント）の実施例（その2）

応用地質株式会社技術本部	正会員	竹林	亜夫
応用地質株式会社関西支社	正会員	○木村	正樹
同上	正会員	鳥居	敏
兵庫県豊岡市日高総合支所	非会員	谷	敏明
兵庫県養父市都市整備部	非会員	安田	徹

### 1. まえがき

知見八鹿線道路整備事業では、我が国の市町村における土木事業では初めての試みとなる CM 方式を採用している<sup>1)2)</sup>。本報告では本事業の中心であるトンネル工事の業者選定方法の詳細についてのべる。

### 2. 事業概要

- |          |                               |           |                     |
|----------|-------------------------------|-----------|---------------------|
| (1) 事業名  | 知見八鹿線道路整備事業                   | (2) 発注者   | 兵庫県豊岡市・養父市          |
| (3) 事業位置 | 豊岡市日高町知見～養父市八鹿町馬瀬             | (4) CM 期間 | H15.12～H19.3（40ヶ月間） |
| (5) 事業概要 | 全延長 L=2,772m うちトンネル部 L=1,563m |           |                     |

### 3. 業者選定方法

トンネル工事業者選定の日程を表一1に示す。

#### 3-1. 事前アンケートの実施

本工事では、金額要素のみではなく施工業者の持つ豊かな技術力を正しく把握する必要があること、各社間で透明性の高い競争を行ってもらう必要があることなどから、総合評価一般競争入札の採用が適当であると判断した。そこで、応募業者の資格を設定するにあたり一定基準を満たす業者（経営審査事項審査結果が1,500点以上）に対して事前アンケートを実施した。アンケートにより参加意志の有無や会社実績、配置予定技術者の実績などを確認し、一定のレベルが確保できるように条件設定の際に配慮した。

#### 3-2. 総合評価一般競争入札の詳細

今回実施した総合評価一般競争入札の特徴を以下にのべる。

- ・ 単独、JVどちらでも入札可能とした（JVの場合は2社まで）。
- ・ 入札と同時に提案書の提出を行うこととし、確認したい項目が発生した業者に対しては詳細確認のためのヒアリングを実施することとした。
- ・ 評価値＝{基礎点(70点)+加算点(最大30点)} / 入札価格とし、技術的要素の割合を大きくした。
- ・ 基礎点は必須の項目について条件を満たしていれば70点を与えるものとした。
- ・ 加算点の内容を技術的要素（20点）と実施体制要素（10点）に分けた。
- ・ 加算点が一定割合に達しない場合は失格とし、低入札防止を図った。
- ・ 応札期待価格を公表し、応札期待価格から一定範囲内に全ての応募者の入札価格が入っていた場合には再度入札を実施することとし、談合防止を図った。
- ・ 課題は5つで各A4に1枚までとし、提案書作成にかかる参加者の負担を低減した。
- ・ 課題は技術的な提案、コスト縮減、地域への貢献、CMとの共同、猛禽類対策などとした。
- ・ 提案が実施されない場合のペナルティ条項を事前に明記した。

キーワード 地方自治体、CM方式、総合評価一般競争入札、情報公開

連絡先 〒669-5391 豊岡市日高町祢布920 豊岡市役所日高総合支所地域整備課 TEL0796-42-1112

### 3-3. 入札結果と不参加理由についてのアンケート

提案書の作成説明会では15社の参加があったが、実際の入札参加は2JVにとどまった。このため、今後の公共事業発注の参考とするために、不参加理由についてのアンケート（19項目の質問＋自由意見記入）を実施した。アンケートは入札説明書受領または提案書作成説明会への参加業者のうち入札不参加となった13社に依頼し、12社より回答を得た。不参加理由として該当者が多い項目は以下のとおりであった。

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| 1) 予定技術者が他の業務で対応出来なくなった    | 7社 |
| 2) 応札期待価格に関するリスク           | 6社 |
| 3) 説明会から見積書・技術提案書作成までの期間不足 | 6社 |
| 4) 公告から見積書・技術提案書作成までの期間不足  | 4社 |
| 5) 技術課題とペナルティに関するリスク       | 4社 |

アンケート結果から、公告日が当初予定よりも遅れたために業者の実施体制づくりが難しくなったこと、標準的な積算や技術提案書作成から一歩踏み込んだ今回の方法に対応する時間や余裕がなかったこと、技術課題に対するペナルティの記述をリスクと受け取られたこと、などが不参加に至った主な理由と考えられる。

なお、総合評価方式そのものや契約書・特記仕様書の内容に関すること、CM導入に関する理由はなく、提案書に関する加算点割合、審査結果公表に関する理由は1社のみという結果であった。また「今後同様な総合評価一般競争入札方式の公募があれば応募したいと思いますか」という設問には11社が応募の意志を示した。これにより今回実施した総合評価一般競争入札の方向性そのものが否定された訳ではないことが確認できた。

### 3-4. 選定結果

応募した2JVに対してトンネル施工業者選定委員会がヒアリングを実施した上で業者を選定した。選定結果を図-2に示す。図に示すように、AJVが価格、評価点数ともBJVと比較して上位であったため、AJVが1位となった。応募業者が2JVであったため、技術的要素の割合を高く設定したことの妥当性や談合防止、低入札防止のために設定した項目の効果については明確にはならなかった。

### 4. まとめ

応募のための書式や業者選定結果、不参加理由についてのアンケート結果、業者選定の経緯などは全て両自治体のホームページに随時掲載し、事業の透明性を高めている。本事業におけるこれらの情報公開が今後の新しい入札方式の発展に役立つことを願うものである。

<参考文献>

1),2)三木, 松沢, 谷, 安田: 地方自治体におけるCM(コンストラクション・マネジメント)の導入事例(その1, その2), 土木学会第59回年次学術講演会, 2004



図-1 業者選定スケジュール

会社名	AJV	BJV
評価点数	97.5	87.5
点数順位	1	2
税抜価格(百万円)	2,540	2,575
価格順位	1	2
評価値	3.84	3.40
最終順位	1	2

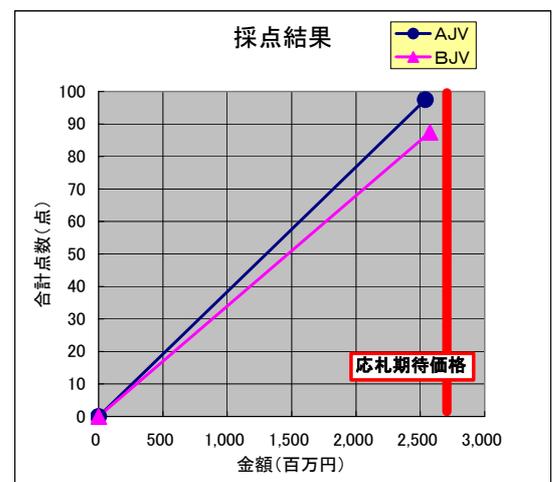


図-2 業者選定結果